

IRAKA A Millennium of Tile Roofing

# 千年の瓦

古代瓦を葺く





関連記事掲載・番組等でのご紹介のお願い

このたび竹中大工道具館では、2017年10月14日から12月3日まで、企画展「千年の葺（いらか）―古代瓦を葺く―」を開催いたします。

鯉のぼりの歌詞「葺（いらか）の波と雲の波～」の葺（いらか）とは瓦屋根のことです。瓦屋根が重なっている風景は、どこか懐かしい日本の原風景を思い浮かばせます。今回は、そうした瓦にスポットをあて、瓦職人の「技」と「心」をご紹介します。

瓦は土をこねて高温で焼き上げたもので、上手に作れば、なんと1000年も、屋根の葺き材として使うことができます。実際、元興寺極楽堂と禅室の屋根には1400年の風雪に耐えて今なお現役で建物を守り続けている飛鳥時代の瓦があります。一体誰がどのようにして作り上げたのでしょうか。

本展ではそうした長寿命の古代瓦にスポットをあて、瓦のつくり方、葺き方について、建築という切り口から瓦を読み解いていきます。

ぜひ会場にて瓦に込められた職人の心意気をご覧ください。

つきましては、是非貴媒体にて本展をご紹介しますようお願い申し上げます。

なお、広報用に提供写真をご用意いたしております。読者・視聴者プレゼントにつきましても写真借用申込書にてお申し込みを受け付けております。ご希望の場合は、別紙の写真借用申込書にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ>

「千年の葺―古代瓦を葺く―」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL=078-242-0216 FAX=078-241-4713 E-mail=iraka@dougukan.jp



2.東大寺大仏殿昭和大修理

## 《見どころ》

1. 瓦づくりの原点に立ち返り、古代瓦のつくり方を製作道具や映像をまじえて、わかりやすくご紹介します。
2. 瓦の形や紋様などの意匠面だけではなく、瓦を葺く技術にも焦点をあて、建築という切り口から瓦を読み解いていきます。
3. 難しくなりがちな技術的内容を大型模型や映像、触れる展示品などで親しみやすく解説します。
4. 迫力ある鷗尾<sup>しび</sup>、造形豊かな鬼瓦、多様な紋様の軒瓦を目の高さでご覧いただけます。

## 展示内容

---

### 第1章 千年の葺

飛鳥時代に朝鮮半島の百濟<sup>くだら</sup>より伝わった瓦技術は、日本の風土にあわせて、独自の變化・発展を遂げています。その千年の歩みをたどります。

### 第2章 古代瓦をつくる

瓦が伝わった当初のつくり方は、今では不明です。本展では瓦の原点に戻り、長年職人の立場で「実際葺ける古代瓦」を研究してきた山本清一氏<sup>(※)</sup>が復元した、古代瓦のつくり方を紹介します。

### 第3章 瓦を葺く

瓦の役割は雨を漏らさず、屋根を長持ちさせることです。雨が多い日本では、瓦そのものはもちろん、葺き方にも様々な工夫がされています。その知恵と技を紹介します。

### 第4章 トピックス展示

瓦の様々な造形を楽しんで頂けるよう、迫力ある鷗尾<sup>しび</sup>、鬼瓦、軒瓦を展示します。

◎特別展示として姫路城大天守の鯨<sup>(実寸)</sup>もご覧いただけます。

## 《主な展示品》



3.古代瓦の製作道具（一部）



4.元興寺の瓦（6世紀、元興寺蔵）



5.原材料の土（左から腐木、田土、山土）



6.軒平瓦の木型



7.瓦の選別道具



8.唐招提寺金堂の鴟尾

3.5.-8.10.すべて山本瓦工業株式会社蔵



9.山本清一（山本瓦工業株式会社社長）（※）

1932年奈良県生まれ。14歳で瓦葺職人の父に弟子入り。その後、井上新太郎のもとで文化財の仕事に入る。主な仕事は、法隆寺金堂、松本城、姫路城、東大寺大仏殿、薬師寺伽藍、唐招提寺金堂、平城宮跡の朱雀門や大極殿など多数。著書に『めざすは飛鳥の千年瓦』。選定保存技術保持者。黄綬褒章受章。日本伝統瓦技術保存会会長。

## 関連イベント

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。

最新の情報は「千年の業—古代瓦を葺く—」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

### ■ 「技と心」講演会「職人と語る瓦屋根のはなし」

日 時=2017年11月5日(日) 14:00~16:30  
場 所=ラッセホール大会場(神戸市中央区中山手通 4-10-8)  
講 師=鈴木嘉吉(元奈良文化財研究所所長)、  
山本清一(山本瓦工業株式会社社長)  
司 会=大脇潔(元近畿大学文芸学部文化学科教授)  
定 員=当日先着200名(入場無料・申込不要)



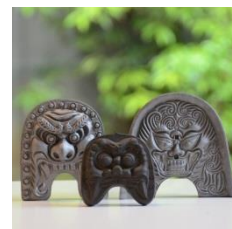
### ■ 「技と心」セミナー[84]「世界の瓦と日本の瓦」

日 時=2017年11月18日(土) 13:30~15:00  
場 所=神戸芸術センター(神戸市中央区熊内橋通 7-1-13)  
講 師=大脇潔(元近畿大学文芸学部文化学科教授)  
定 員=80名(事前申込制・参加費無料)  
申込締切=10月20日(金) 必着



### ■ ワークショップ「鬼瓦クッキーをつくろう！」

日 時=①2017年10月22日(日)、②2017年11月19日(日)  
各日とも[イ] 10:00~12:00、[ロ] 14:00~16:00  
場 所=竹中大工道具館地下2F 木工室  
定 員=各回小学4年生以上の親子15組  
参 加 費=3,000円(入場料込み)  
申込締切=①9月22日(金)、②10月20日(金) 必着



申込方法 ウェブメールまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブメール	公式サイト( <a href="http://www.dougukan.jp/iraka">http://www.dougukan.jp/iraka</a> )内よりお申し込みください。
はがき	[往信用裏面] ①イベント名(ご希望時間も) ②参加者氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢
	[返信用表面] 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。 裏面は未記入のこと。
	[申込み先] 〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

## 展覧会概要

- 名 称 千年のいらか葺ー古代瓦を葺くー
- 会 期 平成29年10月14日(土)～12月3日(日)
- 会 場 竹中大工道具館1Fホール  
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1  
TEL 078-242-0216 FAX 078-241-4713
- 開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)
- 入場料 一般500円、大高生300円、中学生以下無料、65歳以上の方200円  
※常設展観覧料含む
- 主 催 竹中大工道具館
- 後 援 神戸新聞社
- 特別協力 山本瓦工業株式会社
- 協 力 鶴工舎、元興寺、興福寺、竹中工務店、橘寺、唐招提寺、東大寺、法隆寺、薬師寺
- お問合せ 「千年の葺」展広報事務局
- 公式サイト <http://www.dougukan.jp/iraka>



TAKENAKA  
CARPENTRY  
TOOLS  
MUSEUM



公益財団法人 竹中大工道具館

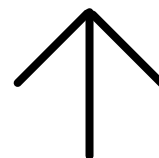


企画展  
「千年の葺  
—古代瓦を葺く—」

広報用画像借用申込書

FAX 送信番号 078-241-4713

竹中大工道具館 広報事務局行



- ◆画像データ（JPEG）をご提供いたします。下記記入欄にご記入のうえFAXまたはメールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ◆読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア（2枚）5組を提供することができます。
- ◆その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

媒体名		
掲載予定日		
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
画像名 (番号に✓)	<input type="checkbox"/> 1	平城宮跡大極殿（文化財建造物保存技術協会より提供）
	<input type="checkbox"/> 2	東大寺大仏殿昭和大修理
	<input type="checkbox"/> 3	古代瓦の製作道具（一部）
	<input type="checkbox"/> 4	元興寺の瓦（6世紀、元興寺蔵）
	<input type="checkbox"/> 5	原材料の土（左から腐木、田土、山土）
	<input type="checkbox"/> 6	軒平瓦の木型
	<input type="checkbox"/> 7	瓦の選別道具
	<input type="checkbox"/> 8	唐招提寺金堂の鴟尾
	<input type="checkbox"/> 9	山本清一（山本瓦工業株式会社社長）
	<input type="checkbox"/> 10	東大寺の鬼瓦
読者プレゼント	図録	部 or 招待券 組

- ▶画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ▶掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ▶お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

■ お問い合わせ先

「千年の葺—古代瓦を葺く—」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713

E-mail：iraka@dougukan.jp

